

分類	大阪府の外国人医療関係施策についてのご意見（抜粋）
慣習やルールについて	○「母国の医療制度や医療習慣(ルール)」と、それに伴う病院での具体的な対応事例やトラブル防止策について研修して欲しい。 ○患者家族・友人での通訳の際の取り決めやルールなどについて研修して欲しい。 ○宗教・文化的背景への配慮（食事制限、礼拝、同性介助、家族同席、輸血や処置に対する考え方など）について研修して欲しい。 ○国による医療や社会保険制度の違いについて教えて欲しい。 ○在日外国人と来日外国人それぞれへの対応方法について教えて欲しい。 ○外国人患者が受けることのできる社会保障制度、法律などについて研修して欲しい。 ○通訳料金やキャンセル料の徴収についてルール作りが難しく、研修等のテーマに取り上げて欲しい。
情報共有について	○厚労省のウェブサイトが更新されたり、新しい情報が発出された際には、大阪府から医療機関へメールなどで連絡をいただきたい。 ○地域の外国人住民・訪日外国人に関する情報を医療機関へ共有していただきたい。
連携について	○コーディネーターの繋がりをさらに構築するための集まりを開催して欲しい。 ○リストに掲載されている医療機関でも通訳同伴でないと受け入れできないといわれることが多い。 ○今後渡航患者に関する取組についても意見交換の機会があると大変参考になると考えております。
言語に関すること	○医療機関が現場で活用できる多言語書式、受付チェックリスト、医療制度の説明資料、相談窓口一覧等を整備・共有して欲しい。 ○院内での外国人患者対応に関する研修事例を共有して欲しい。 ○翻訳ツールでは対応が難しい病状説明・手術説明・同意取得時の通訳利用方法など、医療通訳の適切な活用について知りたい。 ○受付・初診時の確認事項と対応フローについて研修して欲しい。 ○身分確認、在留資格、保険加入状況、緊急連絡先、支払い方法の確認などについて研修して欲しい。
補助金について	○外国人患者の受入れ数が多い医療機関ほど、未収金リスクや実際の負担額が高額であり、それをカバーするための「未収金対策補償保険」の保険料負担も重くなるため、各医療機関の負担度合いに応じた補助金を受入れられる仕組みがあると幸いです。 ○専門人員や組織体制を整えて外国人患者を受け入れている病院にインセンティブなど考慮してほしい。 ○現在の補助金制度では半額負担となっていますが、昨今の状況では院内承認が得にくいので全額補助として頂けましたら大変助かります。
その他	○訪日外国人患者に対して旅行保険加入を強く推進してほしい。 ○外国人患者に対す社会保障、福祉や法律に関して専門家の窓口相談があれば助かる。 ○大阪府外国人患者受入れ拠点医療機関であることを示すステッカーやポスターなどのツール配布や各区広報での同医療機関の紹介などの啓発活動を行なっていただければ幸いです。 ○救急・夜間対応やトラブル発生時の支援体制の充実を期待します。